

1 単 元 あきとなかよし

2 情報の交流を行う場面と方法【つたえる場面】

友達が調べた虫のことについての発表を聞き、ワークシートに記入する。また、そのワークシートをもとに、自分の班の人に教えてもらった虫の話を伝える。

3 情報の交流により期待される効果

友達から聞いたことをワークシートに記入し、もう一度友達に伝えることで理解が深まる。また、友達に伝える活動を取り入れることで、相手の話を落とさず聞く意識をもたせることができる。

4 指導計画（8時間完了）

- (1) むしの いるところを かんがえ さがしにいこう・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) むしの すみかを かんがえよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) あきの むしについて わかったことを おしえあおう・・・・・・ 4時間
  - 〔あきの むしについて しらべよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
  - 〔あきの むしの ようすを しょうかいしよう・・・・・・・・・・ 2時間（本時2/2）
- (4) はるに であった いきものの ようすを みてみよう・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の指導

- (1) 目 標
  - 秋の虫について興味をもって聞くことができる。
  - 自分の調べた虫との違いに気付くことができる。

- (2) 準備
  - 教 師：虫の写真，ワークシート
  - 子ども：ワークシート

(3) 指導過程

| 時間配分 | 学 習 活 動               | 指 導 上 の 留 意 点   | 評価の観点と方法   |
|------|-----------------------|---|--|
| 5分   | 1 本時の学習内容を確認する。       | ○ 本時の学習内容を理解させ、聞き方の確認をする。   |  |
| 20分  | 2 調べた虫について発表する。（5～7班） | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ うまく発表ができていないグループや児童には、「声の大きさ」や「発表の仕方」などについて声掛けを行い、発表がスムーズに進むように働き掛ける。</li> <li>○ 1～4班は、発表を聞いてワークシートに記入する。</li> <li>○ ワークシートを書くことばかりに集中しないように声を掛け、自分が調べた虫との違いも考えながら聞くように声を掛ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が調べたことを相手に伝えようとしているかを発表の様子からつかむ。</li> <li>○ 友達の発表に耳を傾けて聞くことができているかをワークシートの記述からつかむ。</li> </ul> |

|     |                      |  |                                       |
|-----|----------------------|--|---------------------------------------|
| 10分 | 3 発表で聞いたことを班の友達に伝える。 | ○ 発表で聞いたことをそのまま伝えるのではなく、自分の言葉で伝えるように声掛けをする。    | ○ 聞いた内容を自分の言葉で友達に伝えているか、班でのやりとりからつかむ。 |
| 7分  | 4 今日の学習を振り返る。        | ○ 「どんなことがわかったか」「どんなことに気を付けて発表できたか」を考えさせ、発言させる。 | ○ 発言から、色々な虫の違いに気付くことができたかをつかむ。        |
| 3分  | 5 次時の学習内容を知る。        | ○ 次時の学習内容を説明し、イメージさせる。                         |                                       |

## 6 実践の様子

まず、それぞれが発表する場所、聞く場所に机を移動させ、「準備ができた班から始めましょう。聞く側の方は、答えを選んで自分が調べた虫との違いも考えて聞いてね」と声を掛けた。それぞれの班では「バッタは、背の低い草がたくさん生えているところに住んでいます。」など、どこの班も自分たちが調べたことを役割分担し伝えていた。聞く方の子どもたちも、友達の発表に一生懸命耳を傾け、「あっ、これだ3番目のやつ」とワークシートの選択肢を選びながら聞くことができていた。

発表が終わり、「次は、今友達から教えてもらったことを自分の班の人に伝えてあげてね」と指示を出した。自分の班に戻り、「じゃあ、僕が1番に発表するね。僕は、バッタについての発表を聞いてきました。バッタは、・・・」と、ワークシートを見ながら自分の言葉で班の友達に聞いてきた虫の話伝えていた。班の中でお互いに聞いてきたことを伝え合うことで、他の虫のことについても知ることができた。

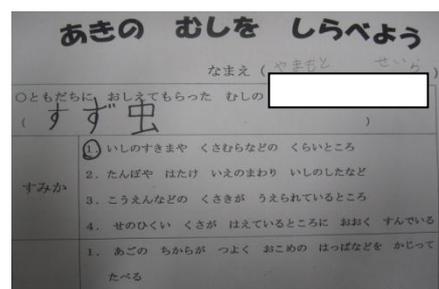
感想の振り返りでは、「初めて知ったことや気付いたことがあった人」と聞くと、「スズムシがせみのぬけがらを食べるのを初めて知った」「虫によって色々な鳴き声がある」などの意見が出た。その様子から、子どもたちの中で秋の虫について新たに知ったことや気付いたことがあったことが分かり、秋の虫についての気付きを深めることができた。

## 7 成果と課題

- 友達の発表を聞いて知ったことをさらに班の友達とお互いに伝え合う活動を通して、いろいろな虫の違いを知ることができた。
- 選択肢を選ばせる活動を取り入れることで、相手の虫の話をよく聞こうとする態度が見られた。
- 友達の発表を聞いて、自分が調べたものと比べるまでには至らなかった。ワークシートに違いを書く欄を作ったり、自分のプリントと見比べる時間を作って発表させたりすることで、自分が調べたものとの違いに対する気付きを深めることができたのではないかと考える。



ワークシートの選択肢を選ぶ様子



ワークシートの内容